

学びのデザインシート（授業後）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語／現代文B】

1. 対象（実施を想定する学校・生徒の実態の概要）

本校は三部制の定時制高校である。〇名が受講しており、多くの生徒は大学や短大への進学を希望している。学習意欲は高く、授業中の問いに対して本文の内容や自らの体験をもとに説明しようとする姿勢が見られる。一方でコミュニケーションを苦手とする生徒が多く、意見の共有や発展には消極的な様子である。本単元では文章読解のうえ、題材について別の視点で書かれたものや題材に関連する記事を読み、周囲と意見を共有することを通して自らの意見を深める活動を設定した。

2. 単元名「持たないという豊かさ」原 研哉

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。(1)エ
思考力, 判断力, 表現力等	【読むこと】 読むことにおいて、筆者のものの見方や解釈を異なる論点や価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。(1)カ
学びに向かう力, 人間性等	異なる観点から題材に関わる内容を読み取り、他者との紹介し合うなかで自らの考えを深めようとしている。 本文内容に対して、構成を意識しつつ自らの主張を述べようとしている。

4. 本時の目標（省略）

5. 授業展開【 本時 ・ 単元 】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

解決したい課題や問い
「豊かさ」について、多面的な視点から捉え、自分の考えを深めよう。

考えるための材料		
(1) 資料を読み、「豊かさ」に関わる視点でまとめる。 ※資料A～C ※ワークシート① ※Googleスライド	(2) まとめた資料を相互に発表し合う ※ワークシート①	(3) 構成メモ 小論文の書き方の復習 ※ワークシート②
想定される活動	想定される活動	想定される活動
<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団を3グループに分ける。それぞれのグループに資料A～Cを配付し、本文に関わる視点で内容をまとめる。 ・ 紹介するための情報をグループスライドで編集する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループを再編成し、作成したグループスライドを用いて紹介し合うことで、資料の内容について共有する。 ・ 紹介された資料をもとに、グループ内で意見交換をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業を通して学んだことを踏まえ、自らの考えを見つめ直す ・ 自らの意見を文章化するための構成メモをまとめる。 ・ 前期で学んだ小論文の書き方を復習しながら、まとまった文章にする。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

○今回の授業は「考えるための材料（2）～（3）」を行う。

教材「持たないという豊かさ」を読解後、生徒に3つの資料を通し「豊かさ」について意見をまとめさせる。各グループでまとめたものを紹介し合い、交換・共有するなかで自らの考えを深めさせたい。

（前時までの活動）

- ・「持たないという豊かさ」を読解し、筆者の主張についてまとめる。
- ・3人1組グループA～Cで異なった3種の資料を読み、「豊かさ」について言えることを考える。
- ・グループで資料について、グーグルスライド2枚にまとめる。

（本時の活動）

- ・グループで作成した資料を踏まえ、どのような紹介をするか打ち合わせる。（10分）
- ・ジグソーのようにグループを再編成し、グループで資料について紹介し合う（12分）【活動1】
（*紹介（2分）、メモ（1分）×3資料）
- ・紹介し合って共有を終えたあと、「豊かさ」を題材に、内容について意見交換を行う。（12分）【活動2】
- ・個人で「豊かさ」について改めて考え、振り返りシートに記述する。（5分）
- ・振り返りと次回予告（5分）

【活動1】

資料A：「人口の移動は、物が豊かでお金を稼ぐのに条件が良い首都圏に集中している。人々が求めているのは経済的な豊かさではないか。」

資料B：「物や価値が増えても、必ずしも豊かとは言えない。」

資料C：「豊かさは物質的と精神的の2極面があるが、真の『豊かさ』は定義がない。一人一人の価値観や心の持ち方にある。」

【活動2】

- ・「資料Aの指摘は自分もそう思う。物や環境が良い場所でないと、気持ちにゆとりも生まれないよ。」
- ・「資料Bにある『目に見える』『心で感じる』は資料Cの物質的、精神的という考え方と同じかな。幸福であることの指標が『豊かさ』にあると言っている。」
- ・「資料Cでいう物質的と精神的という考え方は『持たないという豊かさ』と似ている考えだね。」

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・「豊かさ」とは物質的ではなく、精神的な心のゆとりを言う（筆者の主張に賛成）。物をたくさん蓄えても飽きてしまうと次から次へと際限がないし、物が多いと気持ちに余裕もなくなってしまう。持ち物をシンプルにして、その一つひとつに向き合う姿勢は大切だ。
- ・「豊かさ」とは自分が満足のできる環境や、やりたいことを自由に求めることができる状態のことではないかと考えた。
- ・「豊かさ」とはやはり経済的にゆとりのあることだと感じた。色々なことに挑戦したり習い事や塾に通ったりすることや、気持ちにゆとりをもって生活するためには、どうしてもお金が必要である。それなしに「心の豊かさ」は実現しない。

*教材や資料の内容緒理解しつつ、自身の立場を明確にして書けていること。